

テーマ: 『 豊かな自然環境を生かし、心豊かな人間性を育むための取組 』

矢板市立 西小学校

Tel. 0287-43-0263

担当者: 野尻 久美子



■実践内容:

矢板市立西小学校では、児童会が中心となって学校内外の環境の整備や自然を生かした活動など積極的に行いました。実践した主な内容としては、下学年児童の生きものとふれあい体験活動や総合的な学習の時間に行った矢板高校との交流学习、地域のごみ拾い、全校生による自然環境の整備などを行いました。春にはサルビア・秋にはパンジーに植え替え、花いっぱいの学校の中で生活しています。

また、ウサギ小屋を明るい所に新設し、みんなで世話をし、命の大切さを学習しています。

■実践成果:

自然豊かな学校内外の環境で学習できるため、児童の心が穏やかになりました。たとえば、春一番に出したスイセンの芽を踏みつけていた児童も小さな命に気付き、花をさかせるよう気を付けたり、地域の汚れた環境を少しでもきれいにしようとする態度が身に付いたりするようになりました。豊かな環境は待っていてもできないこと、自分たちの手で守っていかねばならないことを知り、進んで環境を守ろうとする姿が見られるようになってきました。

■実践ポイント:

心豊かな人間性を育むには、児童が自ら「思いやりの心をもつこと、命を守ること、環境を整えること」ができるように、計画的に教師が仕組むことが大きなポイントになりました。各教科の授業などすべての学校教育活動で意図的・計画的に取り組むことが大切であることが分かりました。